



2023年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年6月13日

上場会社名 リンカーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5131 URL https://corp.linkers.net
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 江頭 宏一 TEL 03 (6822) 9585
 四半期報告書提出予定日 2023年6月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第3四半期の業績 (2022年8月1日～2023年4月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第3四半期	1,259	16.0	124	21.5	119	17.4	96	5.5
2022年7月期第3四半期	1,085	—	102	—	101	—	91	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第3四半期	7.33	7.20
2022年7月期第3四半期	7.45	—

- (注) 1. 2021年7月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年7月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。
2. 当社は、2022年10月26日に東京証券取引所グロース市場へ上場したため、2023年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2023年7月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
3. 2022年7月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載していません。
4. 当社は、2021年11月12日付で株式1株につき100株の割合で株式分割を行っており、また、2022年7月2日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第3四半期	2,080	1,837	88.3
2022年7月期	1,715	1,466	85.5

(参考) 自己資本 2023年7月期第3四半期 1,837百万円 2022年7月期 1,466百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年7月期	—	0.00	—	—	—
2023年7月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年7月期の業績予想（2022年8月1日～2023年7月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,622	14.9	111	70.4	105	66.5	121	148.0	9.16

- （注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
 2. 業績予想の修正については、本日（2023年6月13日）公表致しました「2023年7月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年7月期3Q	13,638,000株	2022年7月期	12,270,000株
② 期末自己株式数	2023年7月期3Q	－株	2022年7月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年7月期3Q	13,155,516株	2022年7月期3Q	12,270,000株

- （注）当社は、2021年11月12日付で株式1株につき100株の割合で株式分割を行っており、また、2022年7月2日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものです。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策による経済活動の制限緩和に伴う個人消費の増加など、景気は緩やかに持ち直しの傾向が見られ始めましたが、ウクライナ情勢の長期化、エネルギー価格や原材料価格の高騰、さらには円安による物価上昇等の影響も加わり、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社は、「マッチングで世界を変える」というミッションのもと、企業と企業の出会いのあり方を見直し、従来の産業構造では成し得なかった最適な出会いを提供することで、多くのイノベーションを生み出す産業のしくみを国内外に築き、産業全体の生産性を最大化するための連携のハブとなる企業を目指すために、マッチングプラットフォームの運営を中心としたビジネスマッチング事業を展開しております。

サービス内容としては、ニーズ起点のマッチングを手掛ける技術探索サービス「Linkers Sourcing」、シーズ起点のマッチングを手掛ける用途開拓サービス「Linkers Marketing」、調達支援サービス「Linkers Trading」、SaaS型の金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、及び当該事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」の提供による探索・マッチングサービスと、技術ニーズ・シーズの調査を手掛ける「Linkers Research」を中心としたリサーチサービスを主たるサービスとしております。

当社が取り組むビジネスマッチング事業は、企業研究費の投下による新技術創出への動向や、製造業を中心とした設備投資の再開、地域金融機関の収益多様化に向けた取り組みなど、オープンイノベーションへの投資領域の拡大に伴い、需要は拡大していくと想定しております。一方で、長期化している新型コロナウイルス感染症や、サプライチェーンの混乱による企業活動の停滞が、ものづくりの現場を直撃しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような事業環境の中、探索・マッチングサービスにおいては、「Linkers Sourcing」及び「Linkers Marketing」にて、期初より今後の探索ネットワーク拡大に向けて新たに海外探索サービスを開始いたしました。当該施策の立上げに営業リソース投下を行ったことから、着手案件数については145件（前年同期194件）と減少いたしました。

また、サプライヤー探索である「Linkers Trading」は、主にカーボンニュートラルへの取組強化を背景とした再生アルミニウムの調達支援を手掛けておりますが、欧米に端を発した金融情勢の悪化による為替相場の影響により需要が大きく減退した一方で、金融機関向けマッチングシステム「Linkers for BANK」、並びに事業会社向けマッチングシステム「Linkers for Business」を合わせた「LFB」は、累積導入機関数が34機関（前年同期27機関）まで伸長し、着実にストック収益が拡大いたしました。

リサーチサービスにおいては、複数の企業に参加を募り、その調査結果を参加企業に限定して提供するマルチクライアントリサーチの販売が、近年注目度の高いカーボンニュートラルに関する技術動向や、生体センシング技術等のトレンドを捉えたレポート販売の増加が牽引し、「Linkers Research」の調査件数は457件（前年同期308件）と売上とともに好調に推移いたしました。

一方、コスト面については、「Linkers Trading」サービスによる仕入高の発生、「Linkers Research」の売上増加に伴うリサーチ外注費用の増加、並びに将来の業容拡大に向けた採用強化による人件費やシステム関係費用等が増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高1,259,870千円（前年同期比16.0%増）、営業利益124,641千円（前年同期比21.5%増）、経常利益119,052千円（前年同期比17.4%増）、四半期純利益96,367千円（前年同期比5.5%増）となりました。

なお、当社はビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ364,821千円増加の2,080,319千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加311,961千円、ソフトウェアの増加41,958千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ6,221千円減少の243,063千円となりました。これは主に、未払法人税等の増加30,987千円の一方で、借入金の返済による長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少35,622千円等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ371,043千円増加の1,837,255千円となりました。これは、東京証券取引所グロース市場への上場に伴う公募増資や新株予約権の行使により資本金及び資本準備金がそれぞれ137,338千円増加し、四半期純利益96,367千円の計上によるものであります。

この結果、自己資本比率は88.3%（前事業年度末は85.5%）となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期の業績予想につきましては、2022年10月26日に「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」にて公表いたしました通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年6月13日）公表いたしました「2023年7月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年7月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,197,266	1,509,227
売掛金	134,557	112,919
商品及び製品	3,251	8,241
仕掛品	10,978	7,638
その他	46,423	104,351
流動資産合計	1,392,477	1,742,378
固定資産		
有形固定資産		
建物	45,616	42,902
工具、器具及び備品	13,000	13,709
有形固定資産合計	58,617	56,612
無形固定資産		
ソフトウェア	129,168	171,127
ソフトウェア仮勘定	27,101	18,247
無形固定資産合計	156,270	189,374
投資その他の資産		
敷金及び保証金	60,636	57,616
繰延税金資産	33,351	34,191
その他	14,144	144
投資その他の資産合計	108,133	91,953
固定資産合計	323,020	337,940
資産合計	1,715,498	2,080,319
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	51,454	42,079
未払法人税等	530	31,517
賞与引当金	18,880	14,700
役員賞与引当金	6,120	—
その他	120,211	128,924
流動負債合計	197,195	217,220
固定負債		
長期借入金	52,090	25,843
固定負債合計	52,090	25,843
負債合計	249,285	243,063
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	237,338
資本剰余金	841,875	979,213
利益剰余金	524,337	620,704
株主資本合計	1,466,212	1,837,255
純資産合計	1,466,212	1,837,255
負債純資産合計	1,715,498	2,080,319

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2021年8月1日 至 2022年4月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2022年8月1日 至 2023年4月30日)
売上高	1,085,882	1,259,870
売上原価	334,691	398,915
売上総利益	751,190	860,954
販売費及び一般管理費	648,620	736,313
営業利益	102,570	124,641
営業外収益		
補助金収入	—	1,020
その他	183	238
営業外収益合計	183	1,258
営業外費用		
支払利息	1,016	728
株式交付費	—	3,303
上場関連費用	—	2,815
その他	298	—
営業外費用合計	1,314	6,847
経常利益	101,439	119,052
特別損失		
減損損失	9,681	—
投資有価証券清算損	—	3,284
特別損失合計	9,681	3,284
税引前四半期純利益	91,757	115,767
法人税、住民税及び事業税	397	20,240
法人税等調整額	—	△840
法人税等合計	397	19,400
四半期純利益	91,359	96,367

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年10月26日に東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2022年10月25日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式966,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ133,308千円増加しております。また、第3四半期累計期間において新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ4,030千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が237,338千円、資本剰余金が979,213千円となっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大による影響について)

前事業年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2021年8月1日 至 2022年4月30日）

当社は、ビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2022年8月1日 至 2023年4月30日）

当社は、ビジネスマッチング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。